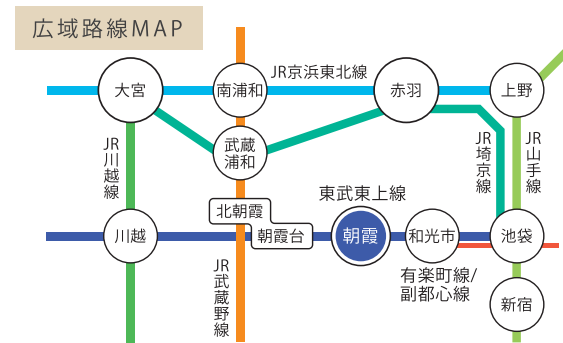


# 交通アクセス



## ■ 徒歩でお越しの場合

東武東上線「朝霞駅」より徒歩13分

## ■ バスでお越しの場合

東武東上線「朝霞駅」より  
国際興業バス乗車▶「旭通りバス停」下車 徒歩5分



医療法人 山柳会

# 塩味病院

shiomi hospital

# リハビリ テーション のご案内

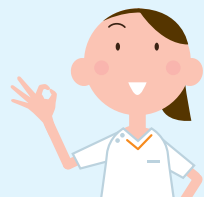
## 医療法人 山柳会 塩味病院

〒351-0023 埼玉県朝霞市溝沼2-4-1  
**☎048-467-0016** 📠048-467-0018  
 【医療相談室】✉nyuin@yamayanagikai.com  
 【リハビリテーション室】✉siomireha@ab.auone-net.jp  
 ご相談は何なりとお問い合わせください。

診療科目 内科・消化器肝臓内科・脳神経内科・呼吸器内科・糖尿病内科・循環器内科・整形外科・乳腺外科・リハビリテーション科・人間ドック・各種健診

診療時間		月	火	水	木	金	土
		午前 (9:00~11:30)	○	○	○	○	○
午後 (2:00~5:30)		○	○	○	○	○	

※土曜日午前中は9:00~12:00です。



退院後も法人内の関連施設で  
シームレスな連携を支援いたします。  
※詳細はHPをご確認ください。

🔍 塩味病院 検索

🌐 [https://yamayanagi.or.jp/shiomi\\_hospital/](https://yamayanagi.or.jp/shiomi_hospital/)



📄 入院中の感染対策 入院中は患者様にマスク着用を徹底していただいております。マスクが不足しないようにご準備ください。

※パンフレット掲載の写真につきましては、撮影時のみスタッフはマスクを外しております。



# ❖ 地域医療の中核病院として、地域の方に寄り添った 質の高いリハビリテーションを実践します



Team

## リハビリテーション科理念

患者様中心のリハビリテーションを実践する  
プロフェッショナル集団として、  
様々な人たち(多職種・地域)と連携し  
地域貢献していきます

## 法人理念

医療・福祉を通じて  
地域社会の方々と職員が一体となり  
心身共に豊かで、  
健康になることを目標とする



## リハビリテーション科について

当法人は朝霞市で唯一、病院・介護老人保健施設・訪問リハビリテーション・特別養護老人ホーム・有料老人ホーム・地域包括支援センター・シニアルームなど地域包括ケアシステムを担えるハード面を有しております。  
リハビリテーション科は「地域貢献」「患者様中心のリハビリテーション」を理念に掲げ、専門職として日々自己研鑽を積み重ねております。  
回復期リハビリテーション病棟においては専門的視点で理学療法士・作業療法士が患者様に最適な車椅子・福祉用具を選定し、言語聴覚士が適切な食形態を設定し、快適な入院生活を支援します。リハビリも1日最大3時間提

供し、在宅復帰・社会復帰の支援を行っております。さらにリハビリテーション栄養の観点から栄養補助食の提供も実施しています。  
また、臨床技術と同様に学術的研究にも力を入れており、東京保健医療専門職大学から非常勤講師を週1回招き、臨床研究指導を仰ぎ定期的な学会発表を実践しております。  
地域貢献の一環として、地域包括支援センター主催の介護予防事業に理学療法士・作業療法士を派遣し、リハビリ専門職が考案した体操指導・定期的な評価を取り入れ、地域住民の健康寿命増進を目指して活動しております。

## 理学療法について



理学療法は、加齢・疾病によって低下した状態のある人々に対し、必要な基本動作(起き上がり・座る・立つ・歩くなど)と、生活する上で必要な日常生活動作獲得のためのADL練習を実施しています。在宅復帰・社会復帰を想定し、福祉用具や補装具の選定・家屋評価にて環境設定やご家族様への介助指導を行います。治療においては根拠のある治療の展開、評価バッテリーをベースにした定量的評価の患者様への説明、リハビリテーション以外にも、患者様の入院生活に寄り添った「思いやり」のある理学療法を目指しております。



理学療法士 森田新平

## 作業療法について



作業療法は、クライアント(患者様やご家族様等)中心の介入を行い、病気のみならず、一人ひとりの希望を尊重した支援を実施しております。また、退院後の生活を見据え、入院中から更衣やトイレ・入浴・買い物等の練習も行い生活力の向上に努めております。患者様の状態に合わせた「作業」を選択し、身体の機能回復のみならず、心も元気になる支援を行い、QOLの向上を目指しております。

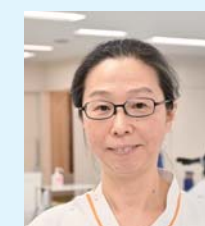


作業療法士 渡邊佳誠

## 言語聴覚療法について



言語聴覚療法は、食べること(摂食嚥下)、話すこと(言語機能)、考えること(高次脳機能)などに対する訓練を行います。食事は嚥下機能を頸部聴診法を主に用いて評価をして、適切な食形態の設定を行い、訓練を実施しています。言語機能や高次脳機能については、他職種との情報共有を行い、苦手になってしまった機能に多角的にアプローチができるように訓練プログラムを考えています。最新の研究知見も取り入れつつ、当院オリジナルの訓練課題も豊富に取り揃えております。

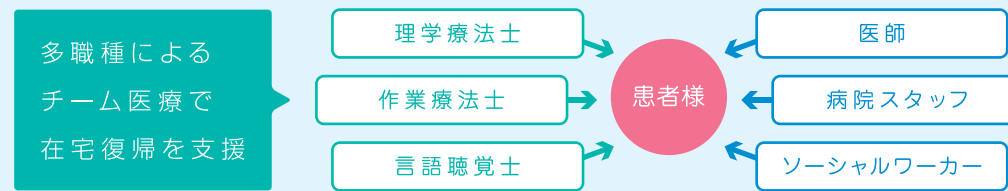
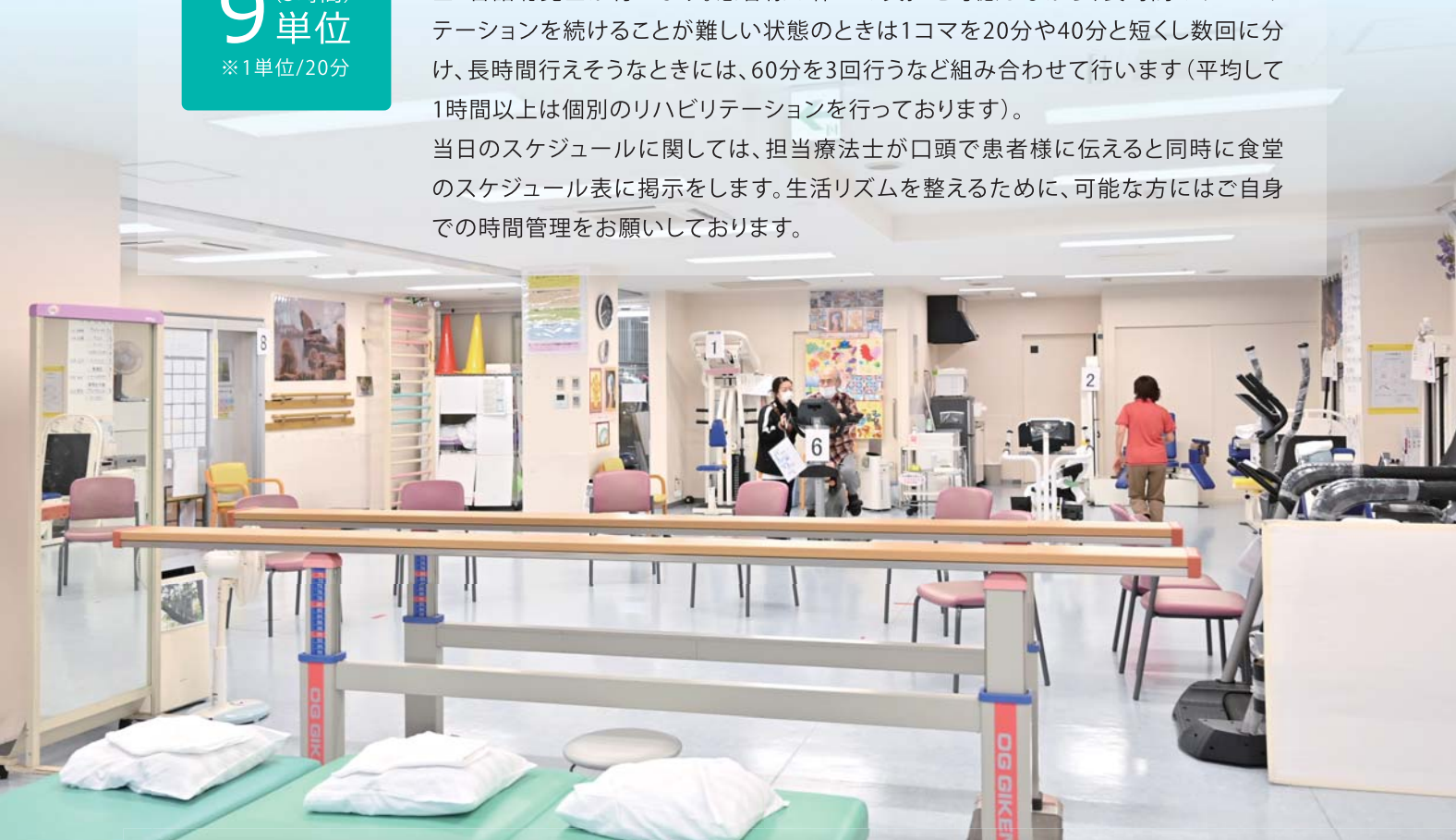


言語聴覚士 菅波美穂

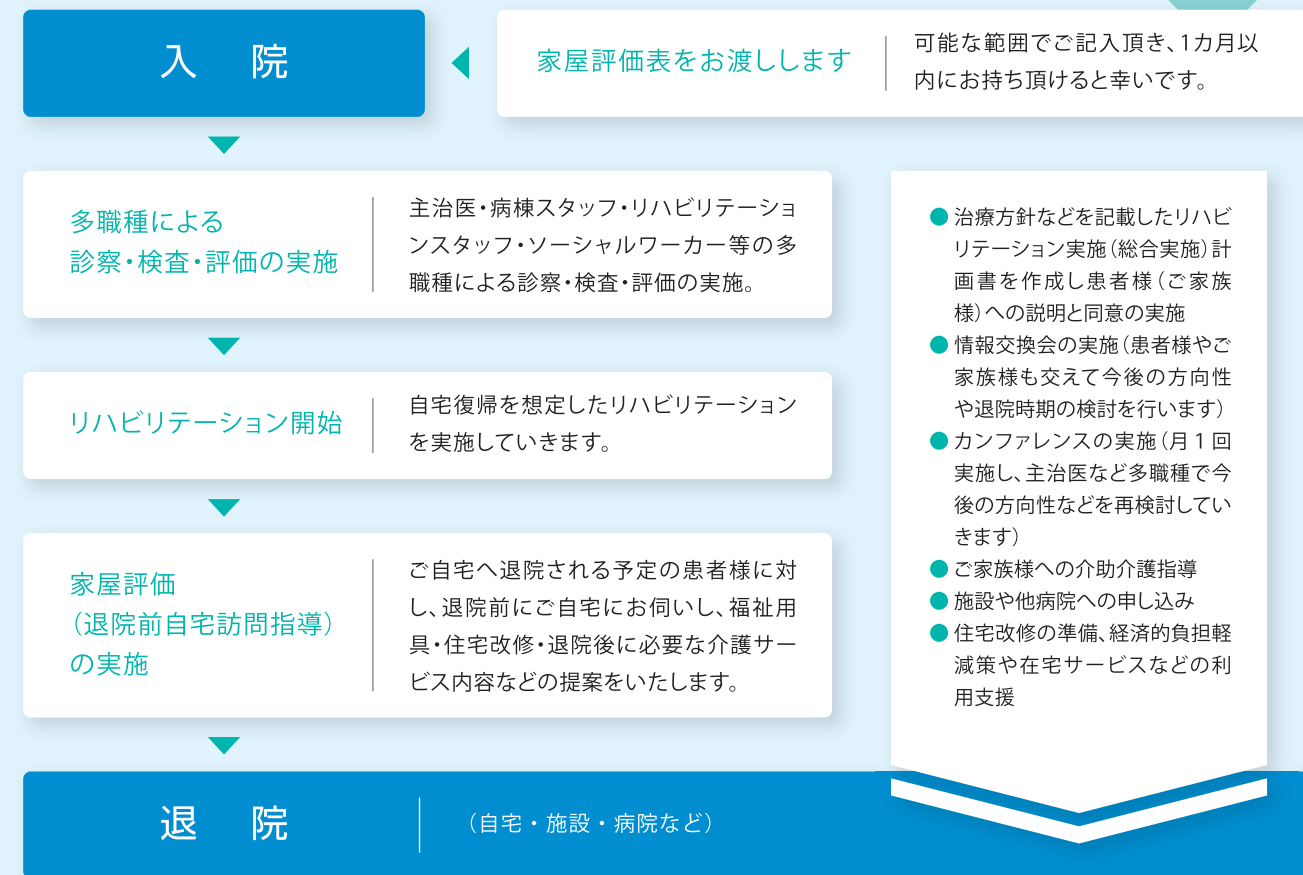
# ❖ リハビリテーションの実施時間について

1日最大  
9 (3時間)  
単位  
※1単位/20分

入院当日もしくは翌日よりリハビリテーションを開始いたします。  
1日最大9単位=3時間(1単位=20分)のリハビリテーションを理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が行います。患者様の体への負担を考慮しながら、長時間のリハビリテーションを続けることが難しい状態のときは1コマを20分や40分と短くし数回に分け、長時間行えそうなどときには、60分を3回行うなど組み合わせて行います(平均して1時間以上は個別のリハビリテーションを行っております)。  
当日のスケジュールに関しては、担当療法士が口頭で患者様に伝えると同時に食堂のスケジュール表に掲示をします。生活リズムを整えるために、可能な方にはご自身の時間管理をお願いしております。



## 📅 リハビリテーションの流れ



## 当院における1日の流れ

※お風呂は週2回(月・木 or 水・土)を予定  
※適宜 排泄(介助)

していますが状況により変動することがあります。

6:00 7:40 8:50 11:40 13:00 17:10 17:40 21:00

朝食・歯磨き  
起床・洗面・着替え

個別リハビリテーション

昼食・歯磨き

リハビリテーション栄養の観点から栄養補助食の提供も実施しています。

個別リハビリテーション

夕食・歯磨き・着替え  
消灯



## 高次脳機能検査も充実



「新しいことを覚えられない」や「不注意が増えた」などの高次脳機能障害を様々な角度から検討し、日常生活への助言をいたします。

# ❖ リハビリテーション科の 取り組みについて

Activities

## 車椅子・福祉用具レンタル

理学療法士・作業療法士が個別評価を行い選定します。適合したサイズを選定することで、背部痛・不快感軽減・身体機能低下予防を図り、車椅子自走を促し活動量を確保した上で、より効果の高いリハビリテーションを提供することができます。転倒リスクのある方でも、個別評価を行い手すりの設置などもレンタルにて行っております。「安全に」かつ「寝たきりにならない」環境設定をすることで、身体機能改善・精神機能の安定を図り、快適な入院生活を送れるようにサポートしております。



## 多職種カンファレンス

チーム医療を実践し医療の質を向上させるために毎月実施します。医師、看護師、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカーなど患者様に関わる様々なスタッフが参加します。入院中の患者様は医学的な問題以外にも、個人の嗜好や家庭の事情など様々な悩みを抱えています。多職種カンファレンスを通じて、ご自宅・施設に帰るためにどのような支援が必要か話し合い、患者様に寄り添った「統一した対応」「具体的なリハビリ目標」を情報共有し、快適な入院生活を送れるように取り組んでおります。



## 技術的支援

職員の学術・技術向上のために評価・治療・研究・学会発表方法について隔週で研修会を実施しております。専門職として理解度の向上・記憶の定着化を目的に、全職員が輪番制でアウトプットする機会を設け自己研鑽を図っております。



## 医療相談室

入院前から退院までのご相談は何なりと医療相談員(MSW)までお問い合わせください。全ての患者様・ご家族様に寄り添った対応をすることを心がけております。一般病棟へ入院され自宅退院を目指すためにさらなるリハビリテーションが必要と判断し、患者様・ご家族様から了承が得られた場合は一般病棟から回復期リハビリテーション病棟に転棟することもございます(入院基本料の変更あり)。

【医療相談連絡先】TEL.048-467-0016(受付時間9:00~17:00)

nyuin@yamayanagikai.com



# 地域貢献について

当法人のスタッフが中心となり、疾病予防・健康維持・医療に関するご相談など地域の皆様の健康を日常的にサポートいたします。

## 1 地域包括支援センター主催のラジオ体操への参加について



体操指導の様子



評価計測の様子

●毎週火曜日にリハビリテーション科職員を派遣し、①体操指導、②ラジオ体操、③地域住民の身体機能・社会参加などを定期的に評価し、適宜健康指導を実施しています。

●参加者には健康ノートを配布し、日々のがんばりを“見える化”して元気になるサポートをしています。また健康ノートを通じて専門職と利用者様の交換日記のようにコミュニケーションツールとしても活用して、地域住民との絆も育てています。



健康ノート

## 2 地域住民の自主グループへの支援

朝霞市社会福祉協議会からの依頼で、地域住民の自主グループ立ち上げ支援を実施しております。地域住民だけで自主グループを運営できるように、社会福祉協議会と地域住民の橋渡し役を当院職員が担い、健康寿命延伸のために必要な知識・体操方法の講義・実技指導を短期間実施し定着を図ります。自主グループ運営数を増やすことで、朝霞市全体の健康寿命延伸・要介護度の重度化防止を目的に取り組んでおります。



## 3 健康教室への講師派遣事業

朝霞市地域包括支援センターからの依頼で、健康教室への講師派遣事業を定期的実施しております。依頼内容によって理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を選別し派遣しております。当法人の理念である“地域貢献”の一環の取り組みであり、地域住民の方が当法人職員を身近に感じられる機会を数多く創出しております。

